

ワイフ・ゴーズ・オン

アガリスクエンターテイメント

黄金のコメディフェスティバル 2015 参加作品

『七人の語らい/ワイフ・ゴーズ・オン』

より
『ワイフ・ゴーズ・オン』

富坂友



アガリスク エンターテイメント

※本作は、アガリスクエンターテイメントが黄金のコメディフェスティバル2015にて上演した『七人の語らい／ワイフ・ゴーズ・オン』という作品より、『ワイフ・ゴーズ・オン』部分を抜粋したものです。

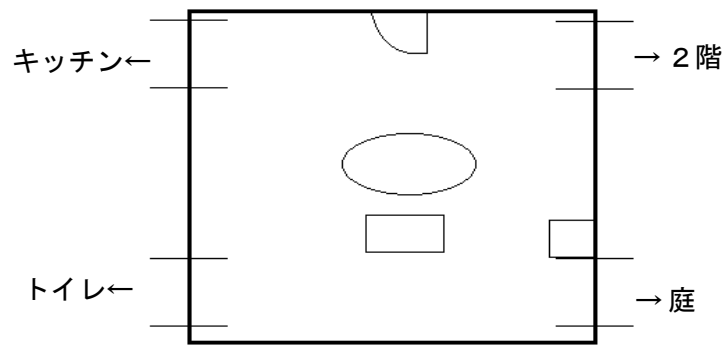
※『七人の語らい／ワイフ・ゴーズ・オン』とは、“この『ワイフ・ゴーズ・オン』を「英国の喜劇作家・ゲイ＝ルーニー氏が書いた傑作シチュエーションコメディ」として上演しながら、七人の登場人物達が各々シチュエーションコメディへの不満を言い出して勝手に作品を改変していく。果たして彼らは制限時間内に『ワイフ・ゴーズ・オン』を最後まで上演することができるのか…？”というメタ・シチュエーションコメディです。

※本シナリオは其中で扱われる『ワイフ・ゴーズ・オン』部分のみを抜粋し、一本の短編シチュエーションコメディとして上演可能な形に加筆・修正したものです。

【登場人物】

- デイヴ デイヴィット＝スミス。ロンドン在住、水道会社勤務の平凡な男。しかし、メアリーとバーバラという二人の妻をもち、秘密裏に二重生活を送っている。
- メアリー メアリー＝スミス。デイヴィットの妻。地元のテニスサークルでバーバラと出会い、事情を知らずに夫の話で意気投合し友人に。両夫婦でテニスをしようとバーバラ夫婦を家に招く。
- バーバラ バーバラ＝スミス。デイヴィットの妻。地元のテニスサークルでメアリーと出会い、事情を知らずに夫の話で意気投合し友人に。両夫婦でテニスをしようとメアリーの家を訪問する。
- ジョン ジョン＝オッペンハイマー。デイヴィットの友人で世界を旅してまわる自由人。ここ最近ではデイヴィットとメアリーの家の2階を間借りして一緒に暮らしている。
- チャン チャン＝ロイ。デイヴィットとバーバラの家の近所に住む中国人。学生時代からバーバラの友人で、ずっと好意を抱いているがバーバラには相手にされていない。
- ゴールド～ アルフレッド＝ゴールドマン。メアリーの父で陸軍少佐。妻を亡くし、男手ひとつでメアリーを育ててきた。デイヴィットをはじめ他人には厳しいがメアリーには甘い。
- ビリー ビリー＝ワージントン。デイヴィットとメアリーの家の近所に住む老人。近所を徘徊し、ボケているのかふざけているのか不明な態度で周囲を困らせている。

【舞台の間取り】



—————舞台はロンドンの住宅街にある一軒家。大きくはないが小奇麗な部屋。部屋の奥に玄関、下手奥にキッチン、下手にトイレとバスルーム、上手奥に2階への階段、上手手前にテニスコートのある庭へとつながっている。部屋の中央にはソファとコーヒーテーブル。上手側の壁に電話。

—————バーバラとデイヴが電話をしている。

バーバラ ええ？このあいだ言ったじゃない。「サークルの友達のところと一緒に行きましょう」って

デイヴ すまない、バーバラ。僕が予定を間違えていたようで、今日はどうしても仕事で抜けられないんだ。

バーバラ そんな。向こうもご夫婦で待ってるみたいだし「お二人でどうぞ」って言われてるのよ？

デイヴ 本当に申し訳ない。今度必ず埋め合わせをするから。

バーバラ 全く…。それにしても、こんな休みの日にも仕事なのね。

デイヴ いやあ、いつも悪いと思ってるけど、土日の片方はこっち出勤しないとイケないから…。

バーバラ まあお仕事なら仕方がないけれど…

デイヴ いつも迷惑かけるね、バーバラ。

バーバラ いいのよ。じゃあ、お仕事がんばってね。

デイヴ うん、ありがとう。

—————電話を終えると、デイヴィットがいたのはどこかの家。ソファで寝ていると、メアリーが入ってくる。

メアリー あなた？

デイヴ (寝ていて気づかない)

メアリー ねえ、あなたったら！

デイヴ (寝ていて気づかない)

メアリー デイヴィット＝スミス！

デイヴ !!

メアリー あなた何ゴロゴロしてるのよ。

デイヴ なんだよ一体。

メアリー このあとお客様が来るんだから、そんなところで寝てないで。

デイヴ お客様？

メアリー あら、もう信じられない。このあいだからずっと言ってたでしょう？今日はお友達がウチに遊びに来るって。

デイヴ ああ！…そうだっけ？

メアリー もう。しっかりしてよね？

デイヴ じゃあ僕は退散しますよ。

メアリー 何言ってるのデイヴィット。あなたも参加するのよ？

デイヴ ええ？

メアリー お互いの夫婦で、ダブルスで試合をするって言ったじゃない。

デイヴ ダブルス？

メアリー テニスよ。こないだから言ってたでしょう？はい、これ。あなたのラケット。
埃かぶってたわよ？

デイヴ ああ。

メアリー グリップのところがダメになってたから、ちょっと私テープ買ってくるわね。
まだ少しは時間あると思うから。それまでに着替えとか自分の支度済ませ
ちゃってね。

デイヴ わかったわかった。
————— ジョンが二階から降りてくる。

ジョン おはようデイヴィット、メアリー！

デイヴ おお、ジョン。

メアリー おはようジョン。よく眠れた？

ジョン ええ、ぐっすり。とても快適に過ごせたよ。やっぱりロンドンの気候はいい
ねえ。サハラ砂漠と比べれば天国だ。

メアリー それは良かったわ。

ジョン ところでメアリー、僕は昨日新しいマジックを発明したんだよ。ここはひと
つ、見ていかないかい？

メアリー そうね、遠慮しておくわ

ジョン ああ、そうかい？

メアリー じゃあちよっと思って行くわね。デイヴィット、よろしくね。

デイヴ はい。

————— メアリーが家の外にはける。

ジョン いやあ、にしてもイギリスのベッドの固さはとんでもないね。おかげでチ
ベットの寺院の石畳で寝たときのことを思い出したよ。

デイヴ 居候の分際で贅沢を言いやがって。

ジョン 居候だって？とんでもない、僕はあくまであの部屋を間借りしてるんだよ？

デイヴ 家賃はアフリカのおかしな土産物でのお支払いだけどね。

ジョン それはそうとデイヴィット、新しいマジックを見てみないかい？

デイヴ ああ、今は遠慮しておくよ。

ジョン OK、じゃあここを見て。
————— 「指が切り離された」のマジックとか。

デイヴ …。

ジョン どうだい？驚いたかい？

デイヴ ああ驚いたよ。それをマジックだと言い張れる君に。

ジョン ありがとう！あと僕もそろそろこういう大掛かりなマジックを試してみよう
と
思
っ
て
ね

—————ジョンが2階への階段から大きな箱を出してきて

ジョン ほら、よくあるだろ？人が入った箱に剣を刺していく、っていうやつさ。

—————ジョンが箱の中に入り、

ジョン 包丁かなんか持ってきて指してみて。

デイヴ わかったわかった

ジョン 刺したかい？

デイヴ ああ、刺した刺した。

ジョン ほーら！僕はまだピンピンしてるぜ？どうだい？すごいだろ？

デイヴ ああ、すごいすごい

—————再び寝ようとするデイヴ。チャイムが鳴る。

デイヴ はいはいはい…

—————デイヴがドアを開けるとビリーが立っている。

デイヴ なんだい？じいさん。家間違えてるよ？

ビリー あんたら！静かにせんかい！

デイヴ ああごめんなさい

ビリー 静かにせんと、空襲が来るぞ！

デイヴ …は？

ビリー ドイツ軍に見つかるぞ！急いで隠れるのじゃ！

デイヴ あの…じいさん？

ビリー 空襲じゃ、空襲がくるのじゃ！

デイヴ ああわかったわかった、空襲だ空襲だ。

—————デイヴがビリーを追い出す。

ビリー 今の誰？

デイヴ ただのボケたじいさんだよ

ビリー なんだ、じゃあデイヴィット、次のマジックなんだけど

デイヴ ああ、うん、それはすごい…

—————ジョンを適当にあしらってまた寝ようとするデイヴィット。チャイムが鳴る。

デイヴ まったくしつこいじいさんだ…！

—————玄関を開けたらバーバラとチャン。驚くデイヴィット。

デイヴ …！…バーバラ！？

ワイフ・ゴーズ・オン

バーバラ あら、デイヴィット！あなたも来られたのね？

デイヴ えっ！？あ、いや…え、なんで君がここに？

バーバラ 何言ってるのよ。さっき電話で散々言ったでしょ？サークルで知り合った友達のところまでホームパーティーって。

デイヴ えっ…ちょっとまった…！友達って…君だったのか！？

バーバラ は？

デイヴ 友達夫婦って…君と僕だったのか…！？

バーバラ 何わけわからないこと言ってるのよ。

デイヴ あっ、いや、その…えーっと…

バーバラ それにしても、あなたも来られるようになったのね。

デイヴ えっ…あっ…えーと…うん。

バーバラ もう、それならそうと早く言ってよ。代わりに友達に無理言って来てもらっちゃったじゃないの。

デイヴ 友達？

バーバラ ごめんね？チャン。

————— チャンが玄関の奥から現れる。

チャン 大丈夫。全然問題ナイ。

バーバラ あなたも知ってるでしょ？チャン。

デイヴ ああ、いつもバーバラが世話になってるね

チャン …。

————— デイヴがチャンに握手しようと差し出すがチャンはニコニコしたまま無視する。

デイヴ …。

バーバラ で、あれ？メアリーさんは？

デイヴ ああ、なんか、さっきどっかに…

バーバラ じゃあ、デイヴィットさんは？

デイヴ ！？デイヴィットさん…！？え…？

バーバラ あら、このおうちの、デイヴィットさん。

デイヴ ！？

バーバラ メアリーのご主人の、デイヴィットさん。

デイヴ …？

バーバラ あら、言ってなかったかしら？メアリーのご主人も「デイヴィット」って言うのよ

デイヴ へー…そうなんだ…

バーバラ お互いの旦那の話になった時、びっくりしちゃった。だって、どっちの夫も

ワイフ・ゴーズ・オン

デイヴィット＝スミスなんだもの。

デイヴ ま、デイヴィットもスミスもよくある名前だからねえ…

バーバラ おまけに年も一緒に誕生日も一緒、家の中でよくやる癖まで一緒なんだから、もう笑っちゃって。

デイヴ 奇跡的な確率だねえ…

バーバラ それですぐ仲良くなったのよ。

デイヴ 素敵だねえ…

バーバラ で、お二人ともいらっしゃらないの？

デイヴ うん…メアリーさんも、そのご主人も、どっちも今はいない…

バーバラ あら、そう。じゃあ今のうちに荷物下ろしちゃうわね

チャン 私も一緒に行くよー

————— バーバラとチャンが出ていく。

デイブ やばいことになった…！

————— ジョンが出てきて

ジョン 今の誰？

デイヴ なんてあいつがこんなところにいるんだ…！

ジョン どういう関係？

デイヴ まさかお客さんってのが…バーバラだったなんて…！

ジョン なあ、デイヴィット！

デイヴ なんてこった…！

ジョン 今の人、知り合い？

デイヴ …どころじゃない。

ジョン 友達？

デイヴ でもない

ジョン 兄弟？

デイヴ で済めばどんなに良かったか

ジョン （気づいて）まさか…愛人！？

デイヴ 愛人なわけないだろ！

ジョン じゃあ誰！

デイヴ 妻だ。

ジョン ああ…って妻！？

デイヴ ああ

ジョン え、その、ツマっていうのは…

デイヴ 奥さん。

ジョン 奥さん！？

ワイフ・ゴーズ・オン

デイヴ (頷いて) ワイフ。
ジョン ワイフ…！ちょっと待った待った！え、だって、お前の奥さんは…メアリーだろ？
デイヴ そうだよ。
ジョン だよな、じゃ彼女は…？
デイヴ 妻だ
ジョン わけがわからない
デイヴ 両方奥さんなんだ。
ジョン は？
デイヴ 二人と結婚してるんだ…！
ジョン なんだよそれ…！
デイヴ 自分でもなんでこうなってしまったのか、よくわからないんだよ！
ジョン どういうことなんだよ
デイヴ 5年前のある日、僕はカフェでお茶を飲んでいるときに、とある女性と知り合った。一目見て、ビビッと来た。
ジョン おお
デイヴ 僕は彼女が運命の相手だと確信した。それがメアリーだ。
ジョン そいつはいい！
デイヴ 僕とメアリーは将来を誓い合った。そしてハネムーンのと看、異国の地ハワイで、とある女性と知り合った。一目見て、ビビッと来た
ジョン ん？
デイヴ 僕は彼女が運命の相手だと確信した。それがバーバラだ。
ジョン ストップストップ。
デイヴ 僕とバーバラは将来を誓い合った。
ジョン 待て待て待て
デイヴ そしてどういふわけか、この奇妙な二重生活が始まってしまったんだ…！
ジョン 「どういふわけか」って、完全にお前のせいじゃないか！
デイヴ そうなんだよ…！
ジョン このこと、メアリーは…
デイヴ 知ってるわけないだろ！
ジョン ってことはもう片方も…
デイヴ 当たり前だろ。あのな、我が国じゃ一夫多妻は認められてないんだぞ？
ジョン こっちのセリフだよ！
デイヴ でも、なんでよりによってこの二人が知り合いになるんだよ…！
ジョン ああ、なんか「テニスサークルの大会で友達が出来た」とかこないだメア

リー言ってたな。

デイヴ　　なんでテニスサークルなんかに通うんだよ！
ジョン　　そりゃあお前、休みの日に旦那がもう一方の家に行っちゃってるからじゃないか？
デイヴ　　今ここにタイムマシンがあったらテニスを発明したやつを撃ち殺しに行きたいよ！
ジョン　　ちょっと待て？地域のテニス大会で一緒になったってことは…
デイヴ　　？
ジョン　　お前、もう一個の家庭ってのはどこにあるんだ？
デイヴ　　ケンジントンだ。
ジョン　　目と鼻の先じゃないか！なんでこんな距離で二重生活してるんだよ！
デイヴ　　離れてたら二つの家庭を行き来するなんてできないだろ？
ジョン　　それでこうして鉢合わせしちゃってたんじゃ世話ないよ。
デイヴ　　…どうしよう！？
ジョン　　知らないよ！自分の撒いた種だろう？
デイヴ　　そんなこと言わずに…親友だろ？
ジョン　　俺はこんな浮気者と親友になった覚えはないね！

—————バーバラとチャンが戻ってくる。

バーバラ　お待たせ、デイヴィット。メアリーさんは？まだ？
デイヴ　　ああ…うん、まだなんだ。どこ行っちゃったんだろうね？
バーバラ　私達だけで居るってのも…（ジョンに気付き）あら、そちらは…
デイヴ　　ああ、えっと彼は…
バーバラ　メアリーさんのご主人？
ジョン　　ああ、いや、僕は
デイヴ　　…そう、メアリーさんのご主人！
ジョン　　！
デイヴ　　デイヴィット＝スミスさん！
ジョン　　！！
バーバラ　あら、どうもはじめまして。私はこっちのデイヴィットの妻の、バーバラ＝スミスと申します。
デイヴ　　（白々しく）家内です。
ジョン　　…！
バーバラ　奥様にはいつもお世話になっております。
—————デイヴを睨むジョン。
バーバラ　…ご主人？

—————デイヴはジョンに話を合わせるように小突く。

ジョン …こちらこそ妻がお世話になっておりますー

デイヴ いーえー。デイヴィット＝スミスさん。

バーバラ それで、奥様は？

ジョン …。

バーバラ メアリーさんは？

ジョン …え？あ！えっと…外ですかね

バーバラ あら、ホントですか？

ジョン ええ。

バーバラ いま通りの方まで見てきたんですけど、いらっしゃらなかったから

デイヴ じゃあ…テニスコートの方かな？

バーバラ そうかもしれないわね。テニスコートってどちらですか？

デイヴ こっち

バーバラ あなたも知ってるの？

デイヴ え？あ！あ、そっか。あの…さっき案内してもらったんだよ。ご主人に。

バーバラ あら、そう。

デイヴ じゃ、いってらっしゃーい

チャン ワタシも一緒にいくよ

—————バーバラがはける

ジョン なにしてくれてんだよ！

デイヴ しょうがなかったんだよ！

ジョン 俺が！？メアリーの？夫！？

デイヴ 今だけそういうことにしといてくれよ！「デイヴィット」

ジョン バレるに決まってるだろ！

デイヴ 大丈夫だよ！だっていまバーバラ少しも疑ってなかっただろ？

ジョン じゃあメアリーの方はどうするんだよ！

デイヴ そりゃメアリーの前で夫のフリしちゃダメだよ

ジョン だからそこをどうするんだって言ってんだよ！今まさにあの二人は会おうとしてるんだぞ！？

デイヴ だから、まあ、メアリーには怪しまれない程度に、バーバラの前でメアリーの夫「デイヴィット」のフリをする…ってのが君のミッションだ。

ジョン 付き合いきれない。

—————ジョンが2階に引っ込もうとする。

デイヴ ちょっと待ってくれ…！もしメアリーにこのことがバレてみろ！？僕はこの家を追われるだろうし、そしたら僕の友人である君だってここには住めなく

なるんだぞ？

- ジョン うっ…！
- デイヴ そうなると、ロンドンに滞在するあいだ、君は屋根のない暮らしをしなきゃいけないわけだ。
- ジョン …。
- デイヴ ロンドンの冬は応えるぞ～？
- ジョン …ああもう！しょうがない！
- デイヴ よし！
- ジョン 今日だけだからな？
- デイヴ ありがとう！
- ジョン で、なんだ？俺がメアリーの夫のフリをすればいいのか？
- デイヴ ああ。バーバラやチャンの前でな。
- ジョン っつか誰なんだ、あのチャンっていう男は
- デイヴ 近所に住んでる中国人だよ
- ジョン なんだってそいつがここに一緒に来るんだよ
- デイヴ さあ…テニスとテーブルテニスを間違えたんじゃないか？
- ジョン なるほど。
- デイヴ それに彼は学生時代からずっとバーバラに恋してるから。
- ジョン そうなのか？
- デイヴ バーバラの方は毛ほども気にしていないみたいだけど。
- ジョン 可哀想な男だ…。勿論彼もこのことは
- デイヴ 知らないよ、そりゃあ。だって恋敵の男が他にも家庭を持ってるなんて知ってみろ、彼は発狂してしまうんじゃないか？
- ジョン 本当に可哀想な男だ…。
- デイヴ とにかくだ、こうなってしまったのは仕方がない。ただ、メアリーとバーバラが顔を合わせたら一巻の終わりだ！なんとか二人が会わないようにするしかない！
- ジョン でもこれから一緒にテニスする約束してるんだろ？
- デイヴ まあそこはどうかして中止にするとか…
- ジョン メアリーは今は？
- デイヴ テニスのグリップを巻き直す、とか言って近くのスポーツショップに。
- ジョン やる気満々じゃないか。
- デイヴ そうなんだよ
- ジョン じゃあ今のうちにバーバラを帰らせよう！
- デイヴ …わかった！

ジョン 帰ってきたメアリーは俺の方でなんとか言っておくから
ジョン なんて言って帰らせよう？
デイヴ なんでもいいから！とにかく急いでバーバラを連れ出せ！メアリーが帰って
くる前に！
—————デイヴが出ていこうとしたらメアリーが帰ってくる。
メアリー ただいまー
デ・ジ …！！
メアリー バーバラさん、まだいらしてないわよね？
—————バーバラの荷物を隠す自デイヴとジョン。
デイヴ えっ、ああ、うん、まだ来てない
メアリー よかった、間に合ったわ。じゃあコレ巻いちゃうわよ。早くしないとバーバ
ラさん来ちゃうでしょ？
デイヴ ああ、本当に、バーバラが来たら大変だ…
—————テニスラケットのグリップを巻き始める。バーバラが来ないか気にするデイ
ヴとジョン。
メアリー それにしても夫婦と一緒にテニスするのなんて何年ぶりだったかしら？
デイヴ ああ
メアリー ほら、一番最後にしたのってあのときじゃなかった？あの のロッジ
にあったテニスコート！
デイヴ そうだねえ
—————生返事しながらメアリーから離れて庭の様子を伺うデイヴ。
メアリー デイヴイット、どこいくの
デイヴ え
メアリー 自分の分は自分で巻きなさいよ。
—————バーバラがデイヴにテニスラケットを持たせて、巻かせる
デイヴ ああ…うん…
メアリー そしたらあなた、ボールを追ってったら、そのまま池に飛び込んじゃって、
大変なことになったわよね。
—————ジョンがデイヴに「バーバラが来たらどうするんだ」「メアリーをどこかに
行かせろ」「どうやって！（これをやってるんだぞ？）」と声に出さずに言
い合い。
メアリー ちょっと、聞いている？
デイヴ 聞いている聞いている。…ところでメアリー？
メアリー うん？
デイヴ これは、ここで巻かなきゃダメかな？

メアリー　　というと？
デイヴ　　例えば、キッチンで巻いてきたらいいんじゃないかな？
メアリー　　キッチンで？
デイヴ　　うん。
メアリー　　どうして
デイヴ　　だって…キッチンで巻くと…キチンと巻ける、って
メアリー　　何バカなこと言ってるの。
デイヴ　　ははは
メアリー　　そんなこと言ってないで早く手を動かす！
デイヴ　　ううん…
ジョン　　ああ、でも…水に濡らすと上手く巻けるらしいよ？
メアリー　　ホントに？
ジョン　　うん。あの…インディアンの…知恵。
デイヴ　　世界中旅したジョンが言ってるんだ、間違いないよ。
—————メアリーを立たせてキッチンに促すデイヴ
メアリー　　なんでインディアンがテニスのこと知ってるのよ
ジョン　　インディアン嘘つかない
デイヴ　　いってらっしゃい
—————メアリーがキッチンにはける。と同時にバーバラがテニスコートの方から
入ってくる。慌てるデイヴとジョン
バーバラ　　どうしたの？そんなにあわてて
デイヴ　　いや、突然現れるもんだから。
バーバラ　　やっぱりメアリーさん外にはいらっしゃらないみたいよ？
デイヴ　　ああ、そう。そいつは残念だ。ところでね、バーバラ。
バーバラ　　なに？
デイヴ　　こんなことをいうのもあれなんだけど、
バーバラ　　うん
—————メアリーがいるキッチンを気にするデイヴィット。
デイヴ　　そろそろおいとましようか
バーバラ　　もう！？
デイヴ　　うん
バーバラ　　来たばかりなのに？
デイヴ　　うん
バーバラ　　メアリーさんと会ってもいないのに？
デイヴ　　そう、メアリーさんは…なんか今日…あの…なんとか、って。デイヴィット

さんが。

ジョン …！？（突然ふられて驚きつつ）

バーバラ メアリーさん、どうかしたんですか？

ジョン …ええ、そうなんですよ、なんか、さっきメアリーから電話がありまして、
—————メアリーはデイヴの寄りかかっているキッチンのドアを開けようとする。

デイヴ ！！

—————ドアを抑えるデイヴ。

バーバラ どうしたの？

デイヴ なんか…疲れちゃって。寄っかかっている。

バーバラ 逆に辛そうだけど。その姿勢。

デイヴ いや、こっちの方が楽なんだ。

バーバラ 大丈夫？ちょっとここ座ったら？

デイヴ いや、大丈夫大丈夫。

—————向こう側から、デイヴの押さえているドアを叩くメアリー

バーバラ ？

—————デイヴは誤魔化すために自らもドアを叩く。

バーバラ なにやってるのデイヴィット

デイヴ …準備運動！インディアンの…踊り！

—————ジョンが玄関の近くの窓から外を見て

ジョン あれ！？あそこにいるのはメアリーじゃないか！？

バーバラ メアリーさん？

ジョン 「ほら！あの窓の外！外でバーバラさんのこと探してるんだよ！」

バーバラ あらまあ！

ジョン 探しに行かないと！

バーバラ そうね！

—————バーバラが外に行こうとすると目の前にビリーが立っている。驚いて腰を抜
かすビリー

ビリー うわああ！

—————バーバラが出ていく。ビリーが起き上がって入口にいるため、チャンが出遅
れる。

ビリー なんじゃ、あの女は。ぶつかって謝りもせずに…

チャン あれはバーバラ。あの男の奥さん、

ビリー ケツ…近頃の女ってもんは

チャン …そしてワタシの最も愛する女の人。

ビリー …。

—————チャンに同情して肩を叩き、サムズアップするビリー。頷くチャン。

チャン　　ワタシも一緒に行くよー！

—————チャンがはける。

ビリー　　そうじゃ、アンタら！さっきからうるさいんじゃ！「ドンドンンドン」！

デイヴ　　すいません、静かにします！

ビリー　　絶対じゃぞ！？

—————デイヴとジョンがビリーを追い払う。デイヴがキッチンのドアから離れ、メアリーが入ってくる。

メアリー　　あれ？

デイヴ　　どうしたんだい？メアリー

メアリー　　いや、なんだか今ここが開かなくて…

デイヴ　　建てつけが悪いのかな？

メアリー　　そんなことより！濡らしたら全然巻けないじゃないの！

ジョン　　あら？インディアン嘘ついた？

—————チャンが外から入ってくる。

チャン　　すいませーんトイレかりたい

デ・ジ　　！！

メアリー　　あら、えっと…（どなた）

ジョン　　…トイレはそっち！

チャン　　ありがとうございます。

—————チャンがメアリーに気付き

チャン　　あれ、あなたはもしかして…

ジョン　　そんなことより急いだ方がいい！

チャン　　ああ、はい

デイヴ　　ごゆっくり～

チャン　　（キッと睨みつける）

—————チャンがトイレにはける。

メアリー　　あれ、今の方は…？

デイヴ　　ああ。彼？彼は…バーバラさんのご主人。

メアリー　　あら、そうだったの？

デイヴ　　そうだよ。もう一人の、デイヴィット＝スミスさん。なあ？

ジョン　　うん、そうみたい。

メアリー　　じゃあバーバラさん達もういらっしやってたの？

デイヴ　　…そういうことになるねえ

メアリー　　なんで教えてくれなかったのよ！

デイヴ すまんすまん
メアリー それで、バーバラさんは今どちらに？
デイヴ ああ…なんか…今忘れ物取りにどっかいった
メアリー そうなの？
デイヴ そう！だから今はいない。…この家には。
メアリー あら、そう。
デイヴ そう！君がバーバラの居場所を気にする必要は全くない。探さない。
メアリー わかったわ。じゃあやっぱり今のうちにコレを巻き直しちゃいましょう。
—————メアリーがソファに座ってグリップを巻き直し始める。バーバラが来る。
バーバラ やっぱりいなかったわよ？
デ・ジ ！！
—————デイヴはソファに座っているメアリーの頭をテニスのラケット（カバーがかかっている）で遮って、後ろ（入口）にいるバーバラから隠す。ジョンはバーバラが中に入ってこないよう防いぎながら
ジョン いや、まだ外にいるよ！行った方がいい！
デイヴ ここの巻き方ちょっと教えてくれない？
メ・バ え？どこ
ジョン ほらあそこだよ！隠れてるんだよ！
バーバラ 本当に？
ジョン 本当だよ！早く追いかけて！
バーバラ だとしたらメアリーさんは何がしたいのよ！
—————バーバラが再び外へ。ジョンが扉を閉める。デイヴはラケットを
メアリー っていうか今、誰かいなかった？
デイヴ え？
メアリー 私達がこうしてる時、後ろに誰か来てなかった？
デイヴ 誰か…？
ジョン ああ…それは俺です。
メアリー じゃなくて、誰かもう一人！
ジョン もう一人…？
メアリー 喋ってたじゃないの！ジョンが誰かと。別の人の声が聞こえたじゃないの！
デイヴ ああ、あれ？あれは違うよ～
ジョン そうだよ～
デイヴ あれは…ジョンが腹話術してたんだよ
ジョン ！！
メアリー 腹話術？

デイヴ うん、彼は最近腹話術も出来て、一人で色んな人の声出せるんだよ。なあ？

ジョン …そうなんだよ～

—————デイヴに理不尽に振られて無理矢理腹話術を披露するジョン。

メアリー なんでこのタイミングで突然腹話術しだすのよ

ジョン はははは…

デイヴ ホントだよ

—————バーバラが再び来る。

バーバラ やっぱりいないですってば

デ・ジ !!

デイヴ 危ない！

—————デイヴがラケットで素振りをして、メアリーに避けさせることで屈ませる。
後ろ（入口）にいるバーバラからメアリーの姿を隠す。ジョンがバーバラの
前に立って部屋に入ってくるのを防ぎ、

メアリー ちょっと何するのよいきなり！

デイヴ 突然素振りがしたくなって…

—————避けたメアリーが上体を起こそうとしたところで

デイヴ バックハンド！…フォアハンド！…バックハンド…

—————バックハンドでもう一度素振りをし、メアリーに避けさせることで屈ませる。

ジョン ああ！また外にメアリーが！

バーバラ いないわよ！どこにいるのよ！

ジョン メアリーが野良犬に襲われている！

バーバラ はあ！？

ジョン 助けに行かないと！

バーバラ あなたがいけば…

ジョン メアリー———！！

—————絶叫しつつドアを閉めるジョン。

デイヴ ふう。

—————デイヴをビンタして起き上がるメアリー。

メアリー 危ないでしょ！いきなりこんなところで素振りししないでよ

デイヴ ごめんごめん、はやる気持ちを抑えきれなくて…

メアリー あとジョンも、なんで誰も見てないときに突然腹話術をするのよ

ジョン …はやる気持ちを抑えきれなくて

メアリー なんだか変よ？二人とも。

—————またしても玄関ドアが開く。

デ・ジ !!

デイヴ うわああー！
———デイヴがソファに座っているメアリーを押し倒して、入り口にいるバーバラから隠す。ジョンがバーバラの前に立って部屋に入ってくるのを防ぐ。
———が、玄関にいたのはビリーだった。

ビリー うわああー！
ジョン なんだよじいさんかよ…！
ビリー なんだとはなんじゃ！それとさっきからうるさいんじゃ…
———ジョンが目の前をふさがなかったせいで入ってくるビリー。メアリーを押し倒しているデイヴを目撃して

ビリー うわあああ！えらいこっちゃえらいこっちゃ！
———ビリーは驚いて退散する。

メアリー ちょっと！なにをするのよ！
———メアリーがデイヴにビンタしてはねのける。

デイヴ 痛っ…！
メアリー なにするのいきなり！
デイヴ ごめんごめん、はやる気持ちを抑えきれなくて…
メアリー 何にはやっているの！信じられない！
———チャンがトイレから出てくる。

チャン トイレお借りしましたー
メアリー あら、どうも
チャン あ、先ほどはすいません、ご挨拶もする前に
メアリー いーえー。
チャン はじめまして。ワタシは、チャンと申します。

デ・ジ ！！
メアリー え、「チャン」…？
チャン はい。
メアリー え…デイ(ヴィット)

デイヴ 「ちゃんと」申しますと…彼は、バーバラさんのご主…
ジョン ！！
チャン ？
デイヴ バーバラさんの…ことを…一番大事に思っている人。
チャン (デイヴィットに) 負ける気はないよ。
メアリー あら、素敵。私はメアリー＝スミスです。いつもバーバラさんには大変お世話になってますわ。
チャン こちらこそー。

メアリー　　で、こっちは私の夫のデイヴィット。

—————メアリーがデイヴィットを指している。

チャン　　？

—————メアリーがデイヴィットを指しているところに入り込むジョン。

デ・ジ　　よろしくー

チャン　　…よろしくお願いします。

—————バーバラが来る。

バーバラ　メアリーさんも野良犬もいなかった…あれ！

デ・ジ　　！！

メアリー　あら、バーバラさん！

バーバラ　メアリーさん！

メアリー　ようこそいらっしゃいました。

バーバラ　ごめんね、何度か入れ違っちゃったみたいで。

メアリー　いえいえ、こちらこそ

バーバラ　ご主人とは先ほどお会いしたんですけど

メアリー　あ、私も今ご主人とご挨拶させて頂いてたところなの。

バーバラ　あら、そう。

メアリー　素敵なご主人じゃないの、デイヴィットさん。

—————メアリーはチャンのことを指して言っている。バーバラに怪しまれないよう
そこに入り込むデイヴ。

バーバラ　そうですか？そんなことないわよ

メアリー　またまたー。ウチのデイヴィットとは大違いですもの。

バーバラ　何言ってるんですか。

メアリー　だってこんなにスタイルもいいし、

バーバラ　スタイルいいですか！？ウチの夫が？

メアリー　ええ。足だってこんなに長いし

バーバラ　え、なが、長いですかねえ…？

メアリー　長いわよお

デイヴ　　いや、でも、ほら、スタイルなんてのは主観の問題だから。

ジョン　　人それぞれ。

バーバラ　まあねえ。（メアリーに）いや、でも健康のためにももうちょっと痩せて欲しいんですけどね

メアリー　え、さらに！？

バーバラ　？

メアリー　さらに痩せるんですか！？

バーバラ ええ
メアリー ご主人が！？
バーバラ ええ
メアリー もう十分細いじゃないですか…
バーバラ そんなことはないですよ。学生時代はあと20kgは痩せてたわよ
メアリー 20kg！？今より！？
バーバラ ええ
メアリー それ、よく生きてられたわね…
バーバラ その頃はレスリングの代表に選ばれたりもしてたわ
メアリー レスリング…！その体で…！？
バーバラ といっても、20kg痩せてた頃の話よ？
メアリー うん、いや、だからこそビックリしてるのよ
バーバラ …？
メアリー …？
デイヴ まあ…でもね、レスリングなんてのは、どれだけ細かろうと全く関係ないスポーツだからねえ？
ジョン そうそう！
メアリー そんなことないと思うけど…？
デイヴ ですよねえ？
メアリー あ、でもレスリングやってたってことはウチの人と一緒にね。
デ・ジ ！！
バーバラ そうなの？
メアリー ええ、この人もレスリングやってたんですよ、学生時代。
ジョン そうだねえ、
メアリー 確かキャンパスで代表に選ばれたとか
バーバラ まあ！
バーバラ じゃあお互いの旦那同士、どこかで試合したことあるかもしれないわね。
メアリー そうかもしれないわね！
————— 笑いあってるメアリーとバーバラ。合わせるデイヴィットとジョン。
デイヴ ハハハハ…絶対にありえない
チャン ん？なんか言った？
デイヴ いや、なんでもない。
メアリー それにしてもご主人、随分英語がお上手ね。
バーバラ ?え?ご主人?ご主人っていうと…
メアリー デイヴィットさん

バーバラ そりゃあ、まあ…はい。
メアリー イギリスにはいつから？
デイヴ …。
バーバラ え？生まれも育ちもイギリス…よねえ？
デイヴ そうみたいですねえ
メアリー そういえばジョンは確かアメリカだったかしら？
デ・ジ !!
メアリー ねえ？ジョン？
ジョン …そうだねえ…確かジョンはアメリカ出身かな？
バーバラ 「ジョン」？
デ・ジ !!
バーバラ 「ジョン」っていうのは
デイヴ そんなことよりメアリー、立ち話も何だし、お茶をお持ちしたらどうだろう
メアリー あ、そうね。ごめんなさい。気が利かなくて。
バーバラ ちょっと！なんであなたがそんなこと言うのよ。失礼でしょ？
デイヴ ん？ああ！そうかな…
メアリー ?
バーバラ ごめんなさい、メアリー。
メアリー いいのよ。じゃ、ごゆっくり。ご自分のお家だと思って。
バーバラ ありがとう。
—————メアリーがはける。
デイヴ 「ご自分の家」ね…
バーバラ ったくもう、厚かましんだから、あなたは。
デイヴ ははは
バーバラ ところで、さっきメアリーが言った「ジョン」って誰？
デ・ジ !!
デイヴ ジョンなんて言ってたかな…？
ジョン 言ってないんじゃないですかねえ？
バーバラ いや、言ってたわよ。っていうかご主人もそれに答えてたじゃない。
ジョン いや…それは…
デイヴ あ、チャンのことじゃないか？
ジョン ああ「チャン」と「ジョン」を間違えて。なるほどね…
バーバラ いや、チャンには言ってなかったわ。っていうかどっちかっていうとご主人
に向かって言ってなかった？
デ・ジ !!

ワイフ・ゴーズ・オン

デイヴ そんなわけないよ。だって、ご主人は、デイヴィット＝スミスなんだから。
ジョン イエス、マイネーム イズ デイヴィット＝スミス！
バーバラ じゃああの「ジョン」ってのは何？
ジョン それは…
デイヴ …ジョンっていうのは確か犬ですよ？
バーバラ 犬！？
ジョン そうなんですよ、ウチで飼ってる犬の名前なんですよ。
デイヴ 「犬の名前といたらジョン」みたいなのこありますからねえ？
ジョン さっき庭で見ませんでした？
バーバラ いや？犬なんていたかしら？
チャン いなかった。
ジョン …それがいるんですよ
デイヴ 僕はさっき見せてもらったよ。
バーバラ どんな犬？
ジョン (↓同時に) チワワ
デイヴ (↑同時に) セントバーナード
バーバラ どっち！？
デイヴ (↓同時に) チワワ
チワワ (↑同時に) セントバーナード
バーバラ だからどっちよ！
デイヴ まあ、だから、チワワでもあり…
ジョン セントバーナードでもある…
バーバラ そんな犬いないわよ！
デ・ジ でもいるんですよ
バーバラ どこにいるのよ？その「ジョン」は
デイヴ おーい、ジョーン！
ジョン ジョーン！
ジョン …どこ行っちゃったのかなあ。
デイヴ 素早いんですよ。デイヴィットさん？
ジョン そうなんですよ、デイヴィットさん。
デイヴ つないでないから、いつの間にかどっかいつちゃうんですよ。ねえ？
ジョン ええ
—————メアリーがお茶を入れて入ってくる。
メアリー お待たせー。
バーバラ あら、どうも

メアリー　あとこれ、頂き物のチョコレート、とってもおいしいのよ。
バーバラ　まあ、おいしそう！
—————メアリーがチョコレートを出す。
メアリー　これ、ジョンの大好物なのよ、ね？
ジョン　えーっと…うん…多分…
バーバラ　えっジョンにもあげてるの！？
メアリー　？
バーバラ　チョコレートを！？
メアリー　ええ、
チャン　アイヤー！！
バーバラ　チョコレートあげるのはやめた方がいいわよ？
メアリー　なんで？
チャン　ジョン、チョコ食べる、体調崩す。
メアリー　（ジョンに）そうなの？
ジョン　そう…かもしれないね
メアリー　あら、そうだったの…でも一人だけお菓子ないってのも可哀想だし
バーバラ　他のものにしてあげましょう？
メアリー　どういうものがいいんですかね？
バーバラ　骨とか。
メアリー　骨！？おやつに！？
バーバラ　ええ、よくかじったりしてませんか？
メアリー　しないと思うけど…（ジョンに）するの？
ジョン　…時と場合によるかな？
メアリー　どんな場合よ。
バーバラ　いつもはどんなものをあげてるんですか？
メアリー　私達夫婦と同じものですけど…
バーバラ　ああ…気持ちはわかりますけど、それ良くないわよ。
メアリー　そうなの？なんで？
バーバラ　同じ物食べさせると、自分を主人と対等だと思っちゃうって言うか
メアリー　え、それ、ダメなの？
バーバラ　ダメよ、立場の違いはハッキリさせておかないと。
チャン　あと同じテーブルで食べさせるもダメ
バーバラ　そうそう
メアリー　え、じゃあどうすればいいの？
バーバラ　床で食べさせないと

ワイフ・ゴーズ・オン

メアリー 床で！？ジョンに！？（ジョンに）じゃあ…床でいい…？
ジョン うん…まあ…
メアリー でも床って食べ辛くないかしら…服だって汚れちゃいそうだし…
バーバラ 服も着せてるの？ジョンに？
メアリー そりゃ着せるわよ！ま、着せるっていうか、本人が着てるっていうか
バーバラ それ、本当にジョンは着たがってるのかしら…？
メアリー ええっ！？
バーバラ ジョンに人間の常識を当てはめちゃダメよ。
メアリー でも、だからって床は…
デイヴ バーバラ！そこまで言うなら君がジョンのおやつを買ってきて差し上げたら
いかがだろう？
バーバラ そうね！
メアリー （デイヴに）ちょっと！なんであなたがそんなこと言うのよ！失礼でしょ！
デイヴ ん？あ、そうかなあ？
メアリー ごめんなさい、バーバラ…。
バーバラ いいのよ、じゃあ私ちょっと買ってくるわね
チャン ワタシも一緒に行くよー
—————バーバラとチャンがはける。
メアリー なんてお客様をお使いに行かせてるのよ！
デイヴ あはははは…
メアリー あら、じゃあ一回これ下げちゃうわね。
—————メアリーがはける。デイヴとジョンが残って
ジョン なんで犬とか言い出すんだよ！
デイヴ しょうがないだろ、君はデイヴィット＝スミスじゃなきゃいけないんだか
ら！
ジョン バーバラさん、犬の件めっちゃめっちゃ食いついてるぞ？これはどっかで見せな
いと収まらないぞ？
デイヴ もうどっかそれっぽい犬を連れてこいよ！
ジョン チワワみたいでセントバーナードみたいな犬なんているわけないだろ！
デイヴ お前が言ったんだろ！
ジョン お前だって言ってただろ
—————チャイムが鳴る。
デイヴ もう帰ってきた…？
ジョン ああ…もう…！
—————ジョンがドアを開けると、軍服を着た大柄な男・が立っている。ゴールドマ

ンが立っている。

ゴールド～ んん？

デイヴ …！！

ジョン どちら様…ですか…？

ゴールド～ 私はイギリス陸軍のゴールドマン少佐だ。貴様こそ誰だ？娘の家になんで知らない男がいる…？

デイヴ お義父さん…

ゴールド～ （デイヴに気付き）君もいたのか。

—————部屋に入ってくるゴールド～。

ゴールド 何度も言うが、私はまだ君に「お義父さん」などと言われるのを許した覚えはないからな。

デイヴ すみません、Mr. ゴールドマン。

ゴールド 誰なんだ、この男は。

デイヴ ここ最近居候している、僕の友人です。

ジョン ジョン＝アフレックです。

ゴールド フン。

—————ジョンがデイヴィットのところに駆け寄り

ジョン 誰なんだ、このおっかない男は！

デイヴ Mr. ゴールドマン、メアリーの父親だ…

ジョン メアリーの！？お父さん！？

デイヴ ああ

ジョン もちろんバーバラとのことは…

デイヴ 知らないよ！知ってるわけないだろ！もしバレたら僕はイギリス陸軍を敵に回すことになる…！

ゴールド …デイヴィット君！

デイヴ はい！

ゴールド メアリーは今どこに

デイヴ 今呼んで参ります。

ゴールド いや、いい。

デイヴ ？

ゴールド メアリーがいないうちに君に話しておきたいことがある。

デイヴ はあ

ゴールド 君は先週の日曜日、ホランドパーク通りを歩いていなかったか？

デイヴ 先週の日曜日…？

ゴールド 先日、私がそこを車で走っていたとき、偶然君のことを見かけてねえ。

デイヴ 声をかけて下さればよかったのに…

ゴールド かけようとしたが言葉を失ったよ…君が、黒髪で下品なパーマの女と抱き合っていたからな！

デ・ジ !!

ゴールド どういうことなんだ。メアリーという妻がありながら、あの女は一体なんなんだ。

デイヴ いや、その…

ゴールド 貴様は娘を愚弄するつもりか！？

—————銃を突きつけるゴールド。

デイヴ 違うんです！あれは浮気とか…そういうことじゃないんです！

ゴールド じゃあどうということなんだ

デイヴ あれは…彼なんです。

—————ジョンを指すデイヴ

ジョン !?

ゴールド はあ？

デイヴ 実は彼には女装趣味がありまして。あれは女装をしたジョンと僕と一緒に歩いていただけなんです。

ジョン …そうなんですよ～！

ゴールド なんだ、あれはコイツだったのか！

デイヴ そうですよ、別の女と抱き合ってるわけじゃないじゃないですか！

ゴールド いや、男だったとしてもだ！抱き合ってたのはおかしいだろ！明らかに普通の関係じゃなかったぞ！

デイヴ !!

ゴールド やはり貴様は、メアリーを裏切ってるってことなんじゃないのか！？

デイヴ 違いますよ！彼は…実はコッチ（オカマみたいなジェスチャー）でして。男なら誰にでも抱き付くんですよ～。ねえ？

ジョン そうなのお、あなたもステキねえ！

—————ゴールドマンに抱き付くジョン。

ゴールド こら！やめたまえ！

デイヴ 僕がメアリーのこと裏切るわけじゃないじゃないですか。

ゴールド メアリーは彼が…オカマだってこと、知ってるのか。

デイヴ 勿論ですよ、メアリーとジョンも友達ですし、3人で仲良くやってるんです

ゴールド ったく…大英帝国の男児ともあろうものが…けしからん！

ジョン オホホホホ…

—————バーバラとチャンが帰ってくる。

バーバラ ただいまー、おやつ買って来たわ
デイヴ バーバラ…！
ゴールド んん？
デイヴ ああ、バーバラ。メアリーの友達です
バーバラ はじめまして。
デイヴ そしてこちらはメアリーのお父さん、Mr. ゴールドマン
バーバラ メアリーさんにはお世話になっております。
バーバラ ジョンのおやつ買って来たわ
デイヴ ああ、ありがとう
バーバラ あと、もし良かった、これ。ジョンの首輪。
ゴールド 首輪？
バーバラ やっぱり首輪しておいた方がいいと思って。
ゴールド 首輪をつけるのか！？ジョンに！？
バーバラ ええ、せめて外を散歩させるときくらいは
ゴールド 首輪つけて外歩かせるのか！？
デイヴ そう…だね…万が一誰かを襲ったりしたら大変ですし…
バーバラ あと、やっぱりジョンに服は着せない方がいいと思うの。
ゴールド ！？何を言ってるんだ君は！
バーバラ 人間の常識をあてはめちゃ可哀想ですから
ゴールド だからって裸に首輪で外歩くのか！変態じゃないか！！
バーバラ 変態じゃないですよ
—————メアリーが来る。
メアリー パパ…！
ゴールド メアリー！
メアリー どうしたの？いきなり
ゴールド いや、ちょっとデイヴィット君に話があつてな…
メアリー 話？
—————チャンが大荷物を持って帰ってくる。
チャン おやつ買って来たよー
ゴールド また来た。今度は誰だ。
チャン わたし、チャンと言います。
メアリー チャン…？
デ・ジ ！！
デイヴ ちゃんと言いますと、彼はバーバラの……
メアリー ご主人！

バ・チ ！？

ジョン …ご執心！

バ・チ ああ

—————チャンが袋から犬用のおやつを出して

チャン はい、これ、ジョンのおやつ。

ジョン ありがとうございます！嬉しいわ～

—————チャンにベタベタと抱き付くジョン。

チャン なんだよ急に！

ゴールド やめなさい！

—————ゴールドがジョンを引きはがす。

ジョン キャッ！

バーバラ メアリー、よかったらこれ。ジョン用のおやつ。

メアリー ありがとうございます！ごめんね、わざわざ。ジョンが喜ぶ…

—————メアリーが袋から出したら「骨っこ」

メアリー と思うわあ…。あ、お金を

バーバラ いいのよ、そんなの。

メアリー でも…

バーバラ なに水臭いこといってるの

メアリー じゃあ、代わりと言っちゃなんだけど、ジョンの芸を見せてあげたら？

ゴールド ジョンの！？ゲイを見せる…！？

メアリー ジョンってすごい芸達者なのよ。

ゴールド ゲイ達者…！

メアリー （ジョンに）ねえ？

ジョン うん…

バーバラ どんなことができるの？「お手」とか？

メアリー そんなものじゃないわよ

バーバラ 「ちんちん」とか？

ゴールド ちんちん…！

メアリー それどころじゃないわよ。見せてあげて。

ゴールド それどころじゃないものを見せるのか！？

バーバラ 見たいわあ…

ゴールド コラ！

メアリー デイヴィット、ちょっと付き合っただけで

ゴールド 貴様ら！何をおっぱじめるつもりだ！！

—————ゴールドがデイヴとジョンを強引に引き離す。

デイヴ ダメですか…

ゴールド ダメに決まってるだろ！

メアリー ええ？…じゃあ私が手伝う！

ゴールド お前まで何をやろうとしてるんだ！！…第一それじゃゲイにならないだろ！

メアリー 何言ってるのよパパ

ゴールド とにかく！人前でそんなことをするのは許さんからな！

メアリー 人前って…じゃあどこで芸をすればいいのよ！

ゴールド～ なんと破廉恥な…！

メアリー ？

バーバラ いいわ、また今度にしましょ。

メアリー ごめんね…

バーバラ いいのよ。みんな揃ったしもう一度お茶入れましょう！私も手伝うわ！

メアリー そうね！

—————メアリーとバーバラがキッチンに行く。

ゴールド ったく、汚らわしい…！

チャン え、ジョンってのはメアリーさん夫婦が飼ってる犬…

デ・ジ ！！

デイヴ 犬畜生のような野郎なんですよ…！

ゴールド 全くだ。

ジョン そうなの～～

—————ジョンがチャン

チャン ！？だからなにをするか！さっきから

ジョン いや、なんでもない…（ゴールドマンを気にして）わよ。とっても良い男
だったから。抱き付きたくなっちゃった。

—————ジョンを跳ね除けるチャン。

チャン こういふことはメアリーさんにしなさいよ

デ・ジ ！！

ゴールド ん？メアリーに？どういふことだ？

デ・ジ ！！

チャン だってこの人のお相手はメアリーさんじゃないですか

ゴールド お相手ってどういう意味だ。

チャン だから、こうやってイチャつくっていか

ゴールド イチャつく！？イチャつくってどういふことだ！

チャン セックスっていか

ゴールド セックス！？

デ・ジ ！！

ゴールド メアリーと！？こいつが！？そんなことしてるのか！？

チャン そりゃあしてるでしょ

ゴールド ちょっと待て、メアリーは、デイヴィット君と、結婚しているんだぞ！？

チャン …？はい。だからこそするでしょ

ゴールド デイヴィット君！君は知ってたのか？メアリーとこいつがデキているという
ことを！

デイヴ ええ…まあ

ゴールド 君はそれでいいのか！

デイヴ いいんです…もう…！

ゴールド なんということだ！…あのメアリーがまさかそんな不貞を働くなんて…！
（ジョンに）貴様がそそのかしたんだろう！

ジョン 違いますよ！

ゴールド （デイヴに）そしてなぜ貴様は止めなかったんだ！

デイヴ いや、なぜと言われても…

ゴールド …まさか！「三人で仲良くやってる」とは…そういうことだったのか！？

デイヴ えっ

ゴールド 貴様らが外で抱き合っていたとか、貴様とメアリーが出来ているとか、ジョ
ンを飼っているとか…つまりは三人でそういう関係だったということだな！

デイヴ …そうなんです！

ゴールド 爛れまくっている…！

—————ゴールドマンが苦惱して庭に飛び出す。

チャン ちょっと待った。今聞いていて気になることがある。

デイヴ え？

チャン 三人で、ってどういうことだ？お前もメアリーさんと関係持ってたっていう
ことか？

デ・ジ ！！

デイヴ いや、違う…

チャン でも今あの人に「そうだ」って。

デイヴ いや、三人ってのは…こっちのデイヴィットさんと、メアリーと、犬のジョ
ンのことだよ！

ジョン そうだよ！正確には二人と一匹！

デイヴ もう三匹って言った方が正しいかもしれないけどな？

ジョン 全くだ！

チャン …そういうことか。

————— ビリーが来る。

ビリー …なんじゃ今は誰もセックスしておらんのか。
デイヴ なんだ、じいさんか。
ビリー またお目にかかれると思ったんじゃがの。
ジョン いいから！行った行った！
ビリー （チャンに）さっきはすごかったぞ。この男がピンクの服の女を押し倒しておっぱじめておったぞ。
デ・ジ ！！
チャン は？
ビリー そこに付け込めばお前さんにも勝ち目はあるかもしれんぞ！
チャン どういうことだ…？
デイヴ いや、これはちがうんだ…
チャン あんた、やっぱりメアリーさんともやってたんだな…。
デイヴ やってないやってない！
ビリー やってたぞー
デイヴ あんた黙ってる！
チャン 許せない…バーバラというヒトがありながら…
デイヴ 違うんだって
ビリー 違くないぞー
デイヴ ジジイ、うるさい！
チャン コロす。
デイヴ ちょっと待ってくれ！誤解だって！

————— ゴールドマンが庭から戻ってくる。

ゴールド デイヴィット君！
ビリー 誤解じゃないぞー！
ゴールド ここはやはりメアリーと別れてくれ！
ビリー バーバラの夫は、メアリーともやってるぞー！
ゴールド なにっ！今なんて言った！？
ビリー バーバラの夫が、メアリーと、やっている
ゴールド やっている…！
ビリー セックスじゃ！
ゴールド セックス…！
ゴールド （チャンを指して）メアリーと…！
ゴールド （デイヴを指して）メアリーと…！
ゴールド （チャンを指して）この男が…！

チャン (デイヴを指して) この男が…！
ビリー そのソファでおっぱじめておったぞ？
チャン 貴様あ…！
ゴールド 貴様あ…！
—————チャンがデイヴの胸倉掴む。そのチャンを振り向かせてぶん殴る。倒れる
チャン。
チャン なぜ私殴られる…？
ゴールド メアリーは、この変態だけでは飽き足らず、こいつとも関係を持っていたな
んて…
ビリー ありゃ？(ゴールドマンの誤解に気付いた風)
デイヴ どうすんだよ…
ジョン 知らないよ…
ゴールド メアリーは穢れてしまった…！私の知っているメアリーはもういない…！
デイヴ あの、お義父さん…？
ゴールド 知んだ妻になんとわびればいいんだ…！
—————メアリーとバーバラがキッチンから出てくる。
メアリー お茶が入ったわよー
バーバラ どうしたの！？チャン！？
チャン わけがわからない…
ゴールド メアリーを殺して私も死ぬ！
—————メアリーに銃を向けるゴールドマン。
メアリー ちょっと！パパ！？いきなりどうしたの！？
ゴールド 私の育て方が悪かったんだ…！二人で死んだ母さんにわびよう！
メアリー 何言ってるの！
ジョン どうすんだよこれ…！
デイヴ ああ…もう…！
メアリー すまないメアリー、私もすぐに行くから…！
デイヴ 違うんです！本当のことを言います！
なに？
デイヴ メアリーはチャンと出来てなんかいません！
ゴールド …なにっ？
メアリー チャンって誰？
デイヴ それにメアリーはジョンとも出来てなんかいません！
ゴールド なにっ！？
チャン ジョンって犬でしょ？

デイヴ ついでにジョンは、犬でも、女装趣味でも、オカマでも、変態でもありません

メアリー あなたそんなことになってたの？

バーバラ ちょっと待って、ジョンってのが犬じゃなかったら何なの？

デイヴ 彼です。

バーバラ …デイヴィット？

デイヴ 彼はデイヴィットではありません。

バーバラ えっ？

メアリー そうよ、デイヴィットは彼でしょ？

デイヴ 彼もデイヴィットではありません

バーバラ チャンよ！

メアリー えっ？じゃあバーバラのご主人は？

デイヴ 僕だ。

メアリー えっ！？

バーバラ じゃあメアリーのご主人は？

デイヴ 僕だ。

バーバラ えっ！？

デイヴ 僕が…メアリーとバーバラ、二人と結婚していたんだ。

チャン アイヤー…

デイヴ 悪いのは全部僕なんです！本当にごめんなさい！

メアリー …。

バーバラ …。

デイヴ でも、これだけは信じてほしい。僕は両方とも愛しているんだ…！出来ることなら、二人を幸せにしたい…。

メ・バ デイヴィット…。

ゴールド そういうことか…。やはり貴様がメアリーを裏切っていたということだな…！

—————デイヴに銃を向けるゴールドマン。

メアリー パパ…！

ゴールド この落とし前、どうつけるつもりだ？デイヴィット＝スミス…！

—————デイヴィットの前に立ちはだかるメアリーとバーバラ。

デイヴ メアリー…バーバラ…

メアリー やめてちょうだい、パパ。私達の夫を撃たないで。

バーバラ 私達二人とも、未亡人になっちゃうわ。

ゴールド しかし…そいつはお前も、この女性も、裏切っていたんだぞ？悔しくないの

か！

- メアリー そんなこと、5年も前に解決済みよ。ねえ？
- バーバラ ええ。
- デイヴ …え？
- ゴールド まさか…お前…
- メアリー もちろん知ってたわ。もう一人奥さんがいることなんて。
- バーバラ 旦那がこんな二重生活してて気づかないわけがないでしょう？
- デイヴ …そうだったの！？
- メアリー もちろん、最初は悔しいとも思ったわ。でも、必死でスケジュールをやりくりしているデイヴィットを見たら…ねえ？
- バーバラ ええ。なんだかいじらしく見えてきちゃったの。世の中には、一人しか妻がいないのに、私達一人分ほども愛情を注がない夫だっているっていうじゃない？
- メアリー それに比べれば、だいぶ上出来よ。
- デイヴ メアリー…バーバラ…
- メアリー といっても、テニスサークルで会ったときは驚いたけどね！
- バーバラ ホント！ご主人の名前が「デイヴィット」って聞いて、すぐにわかったわ、「この人だ」って。
- メアリー そして、私達はとっても気が合うんじゃないか、って、思ったの。
- ジョン え、でも…知ってたんなら、なんでさっきまで…
- メアリー ごめんなさい、デイヴィット。ちょっとからかってみたの。
- バーバラ さっき二人でお茶を淹れながら、大笑いしちゃったわ。
- メアリー あなた、二重生活を頑張ってくれてるのはいいけど、最近いつも疲れてて、どっちと一緒にいてもボンヤリしてるっていうじゃない？
- バーバラ 電話口での「愛してる」も言ってくれなくなったし。ここはちょっと、喝を入れよう、って。二人で計画しちゃったの。怒らないでね？
- デイヴ そんな…僕が起こるだなんて…
- メアリー ということなの、パパ。パパがママをなくしてから私を一人で育ててくれたけど、私達は一人の夫を共有することにしたの。
- バーバラ 家族の形なんて、幸せならばなんだっていい。私達はそう思います。だから、デイヴィットのことを撃たないでいてくれませんか…？
- メアリー こんな不思議な形だけど、私はいま幸せよ？
- ゴールド …ふん！私には理解できん…
- 銃を引くゴールドマン。
- デイヴ Mr. ゴールドマン、黙っていて、本当にすみませんでした。

ゴールド 違うだろ。
デイヴ ?
ゴールド 「お義父さん」だろ？
デイヴ …！
ゴールド それともなにか？バーバラさんがいるからって、娘をほっぽりだすつもりか…？
デイヴ とんでもない…！両方とも幸せにします！お義父さん！
ゴールド じゃあな、メアリー。私は退散するでしょう。
メアリー もう帰るの？お茶くらい飲んでいけばいいのに
ゴールド これ以上、娘夫婦の秘密を知ったら心臓に悪いんでな。
————— ゴールドマン、帰る。
ゴールド 全く私には理解できん…愛する妻が二人もいるなんてな
バーバラ それじゃ、テニスを始めましょう？ところで、どのペアになるのかしら？私とデイヴィット？それともあなたとデイヴィット？
メアリー いーえ。私とジョン、あなたとチャンじゃない？だって、こことここが夫婦なんでしょ？
メアリー じゃあデイヴィット、あなたは玉拾いよろしくね。
デイヴ …はい、喜んで。
メアリー じゃあ行きましょ、ジョン。
ジョン え、うん
チャン (ジョンに) 負ける気はないよ。
————— バーバラとチャンが庭にはける。
メアリー デイヴィット、ここ片づけて来てね。
デイヴ …はい、喜んで。
ビリー ところで、メアリーさんとやら。次はいつおっぱじめるんかの？
ジョン じいさんも、早く帰った帰った！
ビリー ケッ、つまらんの
————— メアリーとジョンが庭へ。ビリーもついていこうとする。
ジョン あんたはそっち！
デイヴ ったくもう…
————— ビリーを外に追い出すデイヴ。
デイヴ ふう。まさか二人がお互いのことを知ってたなんて…これからはもっと気を付けないと。
————— 一人残ったデイヴィット。食器を片付けているとチャイムが鳴る
デイヴ ったく、しつこいじさんだ…！はーい！

ワイフ・ゴーズ・オン

—————デイヴが玄関ドアを開けて外に文句を言いに出る。

??? デイヴィット、来ちゃった♪

デイヴ !?…キャサリン!

—————ドアの外を見て絶句しているデイヴ。BGM「カルメン～～闘牛士の歌」

終